

1.新光投信株式会社は、2016年10月1日にみずほ投信投資顧問株式会社、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社(資産運用部門)と統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号、加入協会(一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会))に変更する予定です(関係当局の認可等を前提とします)。

2.投資信託約款変更のお知らせ

当ファンドが投資対象とする外国投資信託のファンド名称が「ケイマン諸島籍外国投資信託 GSグローバル・サブオーディネイテッド・デット・セキュリティーズ・FX・サブ・トラスト円建受益証券」から「ケイマン諸島籍外国投資信託 グローバル・サブオーディネイテッド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト円建受益証券」に変更されたため所要の変更を行いました。
(効力を生ずる日 2016年7月12日)



マンスリーレポート



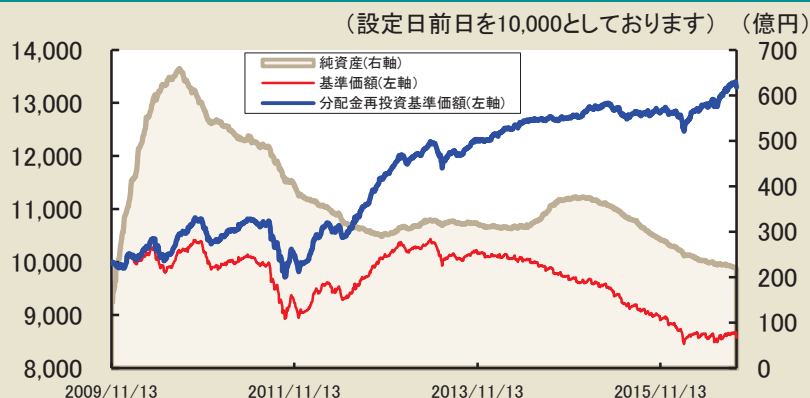
ハイブリッド証券ファンド

設定日 2009年11月16日(ただしメキシコペソコース/トルコリラコースは2013年7月11日設定、
円コース(年2回決算型)/ブラジルリアルコース(年2回決算型)は2015年1月14日設定。)
決算日 【毎月決算型】原則 毎月12日 【年2回決算型】原則 毎年4月、10月の各月12日

2016年9月12日現在

円コース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものととして計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	96.5 %	96.0 %
純資産	21,790 百万円	22,551 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
8,572 円	▲0.8 %	8,638 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲0.2 %	2016年9月	45 円
3ヵ月	1.8 %	2016年8月	45 円
6ヵ月	4.1 %	2016年7月	70 円
1年	3.7 %	2016年6月	70 円
3年	10.6 %	2016年5月	70 円
5年	30.2 %	2016年4月	70 円
設定来	33.0 %	設定来合計	4,210 円

米ドルコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものととして計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	96.2 %	95.6 %
純資産	2,160 百万円	2,155 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
10,010 円	0.6 %	9,953 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものととして計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	1.3 %	2016年9月	70 円
3ヵ月	▲1.7 %	2016年8月	70 円
6ヵ月	▲4.7 %	2016年7月	70 円
1年	▲10.0 %	2016年6月	70 円
3年	15.8 %	2016年5月	70 円
5年	74.8 %	2016年4月	70 円
設定来	55.1 %	設定来合計	4,495 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

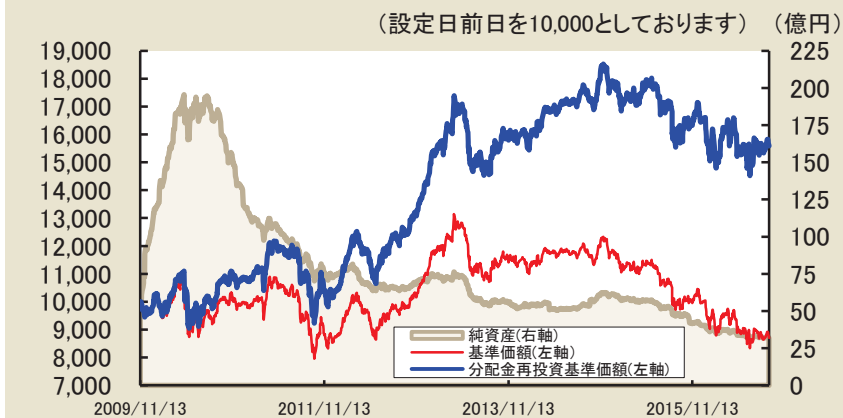


ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

豪ドルコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	96.3 %	96.8 %
純資産	3,191 百万円	3,274 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
8,707 円	▲1.5 %	8,838 円

基準価額の騰落率

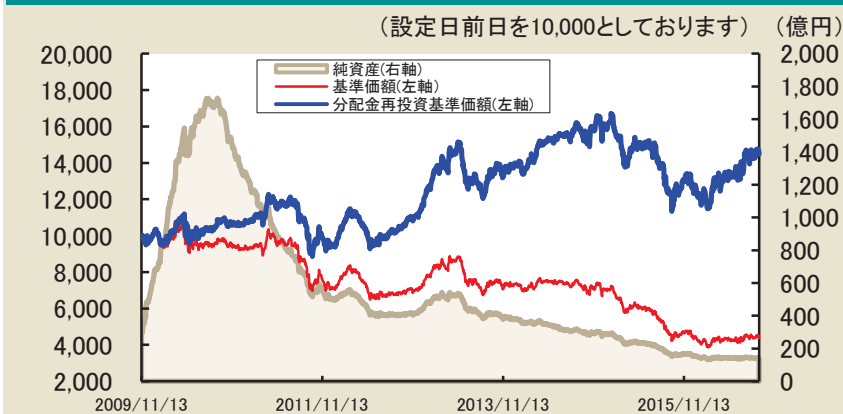
分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲0.6 %	2016年9月	80 円
3ヵ月	0.5 %	2016年8月	80 円
6ヵ月	▲4.1 %	2016年7月	80 円
1年	▲2.6 %	2016年6月	80 円
3年	0.5 %	2016年5月	80 円
5年	44.4 %	2016年4月	80 円
設定来	55.9 %	設定来合計	6,010 円

ブラジルリアルコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.8 %	95.6 %
純資産	13,792 百万円	14,543 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
4,380 円	▲2.8 %	4,506 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲1.5 %	2016年9月	60 円
3ヵ月	5.9 %	2016年8月	60 円
6ヵ月	10.2 %	2016年7月	60 円
1年	18.0 %	2016年6月	60 円
3年	11.1 %	2016年5月	80 円
5年	38.7 %	2016年4月	80 円
設定来	44.9 %	設定来合計	8,500 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

ロシアルーブルコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
 ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.1 %	93.7 %
純資産	469 百万円	516 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
 ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
5,725 円	0.8 %	5,677 円

基準価額の騰落率

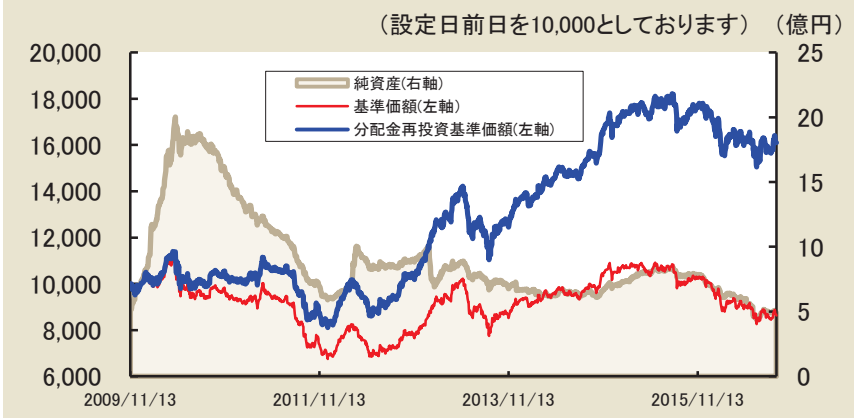
分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
 ・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	1.9 %	2016年9月	60 円
3ヵ月	0.6 %	2016年8月	60 円
6ヵ月	7.0 %	2016年7月	60 円
1年	4.2 %	2016年6月	60 円
3年	▲18.6 %	2016年5月	60 円
5年	24.9 %	2016年4月	60 円
設定来	15.1 %	設定来合計	5,595 円

インドルピーコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
 ・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.6 %	94.7 %
純資産	491 百万円	497 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
 ・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
8,632 円	0.7 %	8,573 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
 ・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	1.5 %	2016年9月	70 円
3ヵ月	▲0.5 %	2016年8月	70 円
6ヵ月	▲2.0 %	2016年7月	70 円
1年	▲5.5 %	2016年6月	70 円
3年	32.9 %	2016年5月	70 円
5年	70.0 %	2016年4月	70 円
設定来	61.1 %	設定来合計	5,670 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
 後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

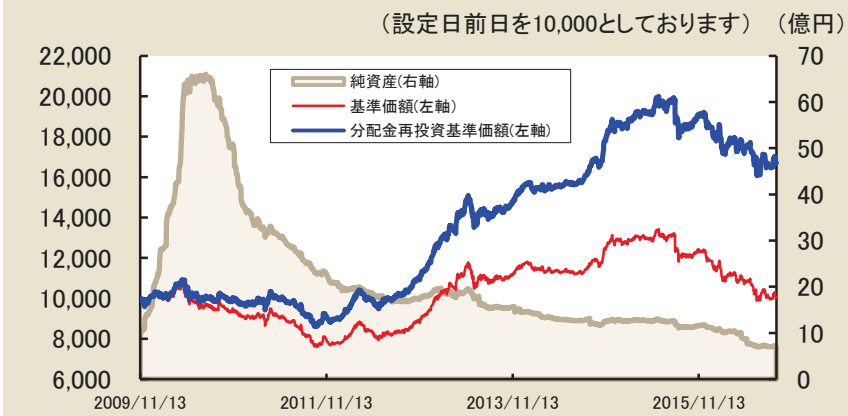


ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

中国元コース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.9 %	94.8 %
純資産	705 百万円	707 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
10,026 円	▲0.3 %	10,059 円

基準価額の騰落率

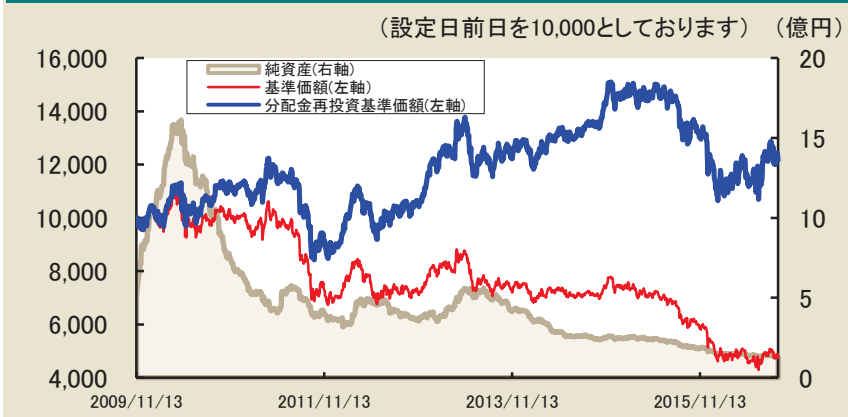
分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	0.5 %	2016年9月	80 円
3ヵ月	▲2.9 %	2016年8月	80 円
6ヵ月	▲6.5 %	2016年7月	80 円
1年	▲9.8 %	2016年6月	80 円
3年	15.6 %	2016年5月	80 円
5年	82.9 %	2016年4月	80 円
設定来	67.1 %	設定来合計	5,305 円

南アフリカランドコース

基準価額の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	95.1 %	95.6 %
純資産	129 百万円	142 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
4,736 円	▲6.3 %	5,057 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲5.4 %	2016年9月	50 円
3ヵ月	4.9 %	2016年8月	50 円
6ヵ月	4.5 %	2016年7月	50 円
1年	▲8.2 %	2016年6月	50 円
3年	▲2.5 %	2016年5月	80 円
5年	20.9 %	2016年4月	80 円
設定来	21.6 %	設定来合計	7,065 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

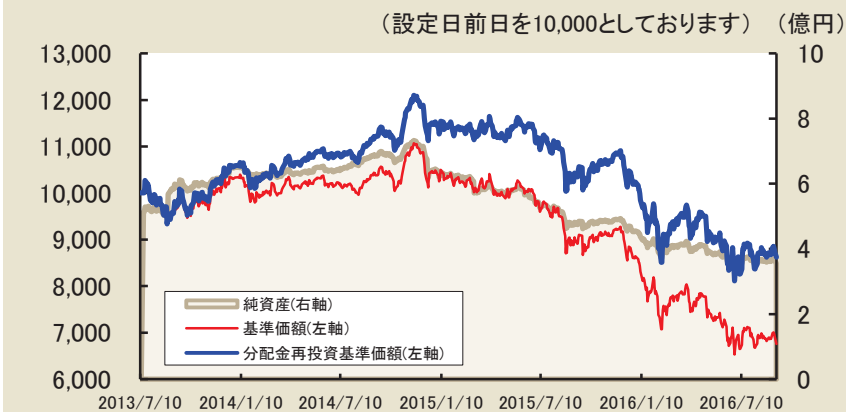


ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

メキシコペソコース

基準価額の推移(2013年7月11日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.9 %	94.7 %
純資産	355 百万円	362 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
6,758 円	▲1.8 %	6,881 円

基準価額の騰落率

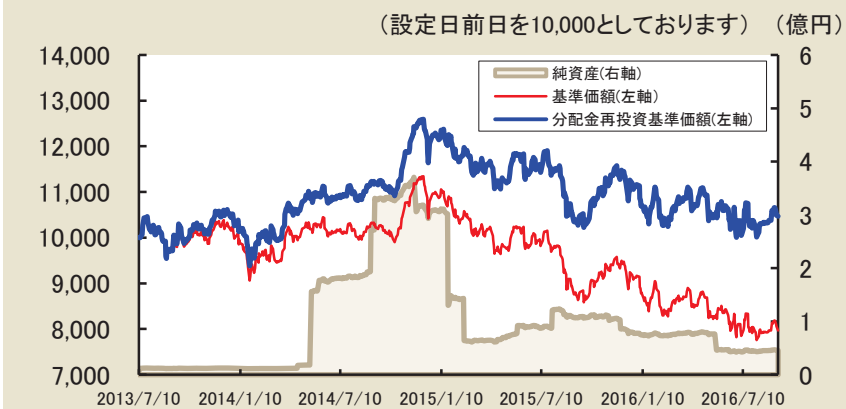
分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲0.9 %	2016年9月	60 円
3ヵ月	▲2.7 %	2016年8月	60 円
6ヵ月	▲8.8 %	2016年7月	60 円
1年	▲16.9 %	2016年6月	60 円
3年	▲11.8 %	2016年5月	60 円
5年	— %	2016年4月	60 円
設定来	▲13.8 %	設定来合計	2,220 円

トルコリラコース

基準価額の推移(2013年7月11日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

外国籍投資信託証券の組入比率および純資産

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	94.2 %	93.9 %
純資産	45 百万円	43 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
7,971 円	0.7 %	7,913 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	1.6 %	2016年9月	70 円
3ヵ月	▲1.5 %	2016年8月	70 円
6ヵ月	▲3.5 %	2016年7月	70 円
1年	1.5 %	2016年6月	70 円
3年	5.1 %	2016年5月	70 円
5年	— %	2016年4月	70 円
設定来	4.7 %	設定来合計	2,590 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。
後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

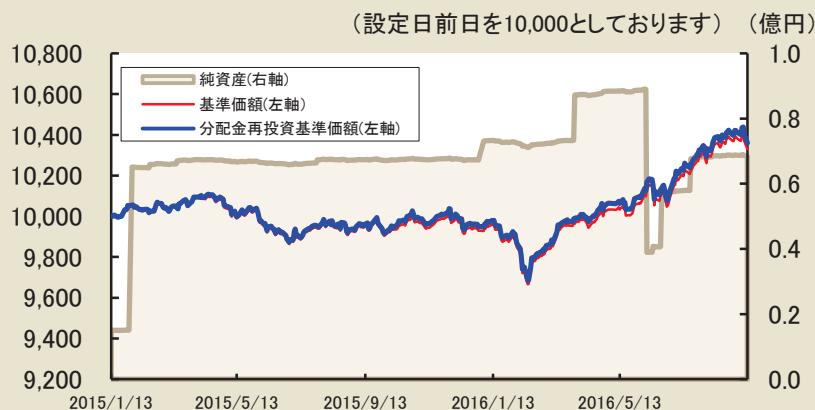


ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

円コース(年2回決算型)

基準価額の推移(2015年1月14日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

資産構成

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	96.1 %	96.5 %
純資産	68 百万円	68 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
10,329 円	▲0.3 %	10,355 円

基準価額の騰落率

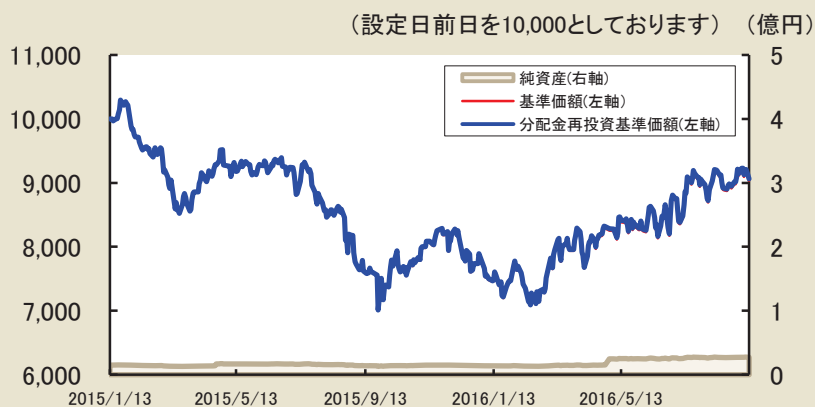
分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲0.3 %	2016年4月	10 円
3ヵ月	1.8 %	2015年10月	10 円
6ヵ月	4.4 %	2015年4月	10 円
1年	4.0 %	—	— 円
3年	— %	—	— 円
5年	— %	—	— 円
設定来	3.6 %	設定来合計	30 円

ブラジルリアルコース(年2回決算型)

基準価額の推移(2015年1月14日～2016年9月12日)



・基準価額は、信託報酬控除後の価額です。信託報酬率については、後記の「信託報酬」をご覧ください。
・分配金再投資基準価額は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。

資産構成

内訳	2016/9/12	2016/8/12
投資信託証券	93.3 %	94.9 %
純資産	27 百万円	27 百万円

基準価額

・基準価額および前月比は分配後です。
・基準価額は当ファンドの信託報酬控除後の価額です。

2016/9/12	前月比	2016/8/12
9,032 円	▲1.5 %	9,166 円

基準価額の騰落率

分配金の推移(税引前)

・基準価額の騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算を行い表示しています。
・分配金は1万口当たりです。

1ヵ月	▲1.5 %	2016年4月	10 円
3ヵ月	5.9 %	2015年10月	10 円
6ヵ月	11.7 %	2015年4月	10 円
1年	19.5 %	—	— 円
3年	— %	—	— 円
5年	— %	—	— 円
設定来	▲9.4 %	設定来合計	30 円

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。

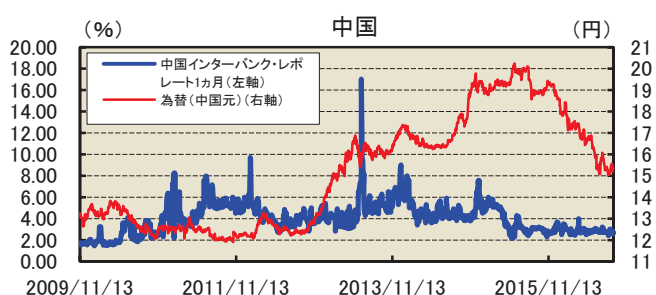
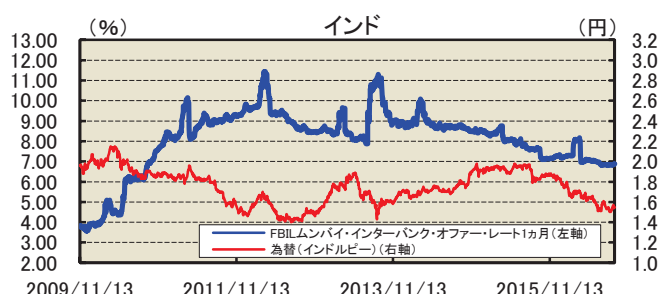
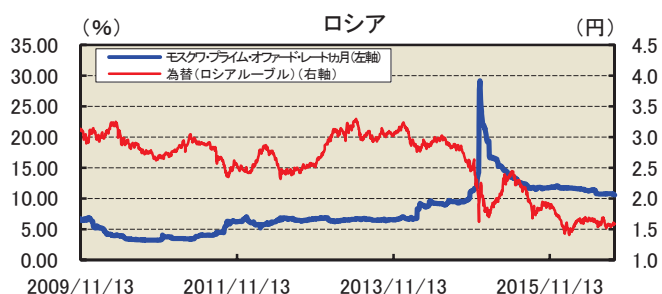
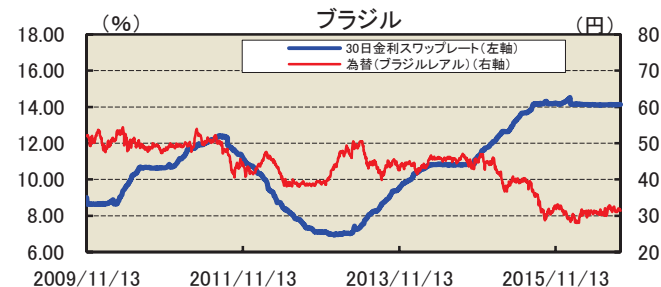
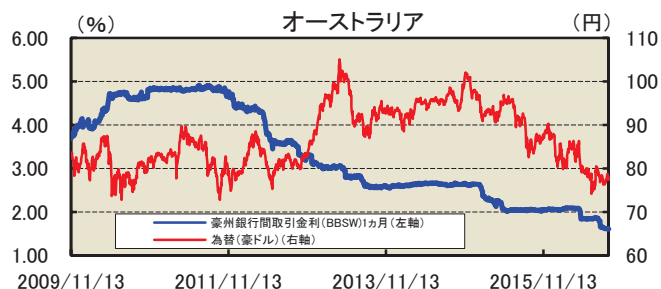
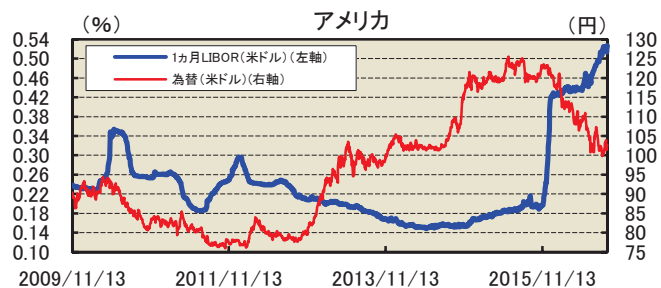
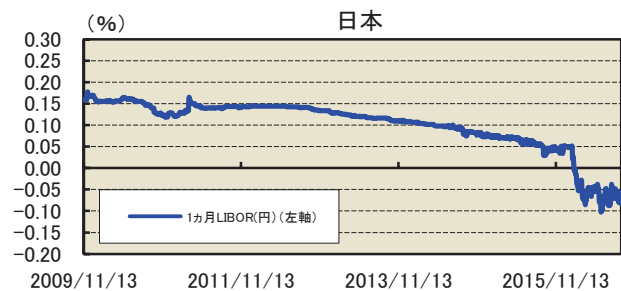


ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

下記のグラフデータはすべて過去のものであり、表示している各国の金利、通貨、および当ファンドにおける各コースの将来の利回りや値動きを示唆・保証するものではありません。また、表示している各種金利は変更になる場合があります。

金利と為替の推移(2009年11月16日～2016年9月12日)



出所 金利:ブルームバーグ 為替:三菱東京UFJ銀行などのデータを基に作成しています。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



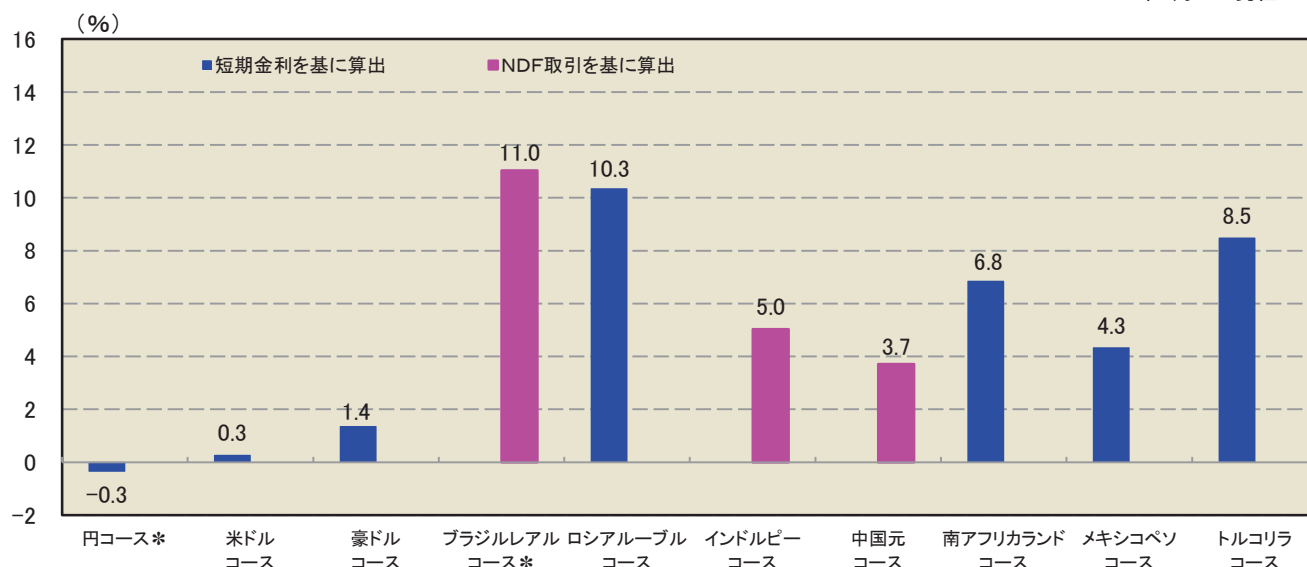
ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

(ご参考) 為替取引によるプレミアム(またはコスト)

下記のグラフデータはすべて過去のものであり、将来の動向や当ファンドにおける各コースの運用成果を示唆・保証するものではありません。

2016年9月9日現在



出所:ブルームバーグのデータを基に新光投信作成

*年2回決算型も同じです。

為替取引によるプレミアム(またはコスト)は、2016年9月9日時点(休業日の場合は前営業日)における各通貨の短期金利、為替取引およびポートフォリオの通貨構成比率を基に算出しています。ただし、NDF取引を使用する通貨では、NDF取引を基に算出された為替取引によるプレミアム(またはコスト)を表示しており、JPモルガンELMI+※の指数の利回りを使用しています。

※JPモルガンELMI+とは、JPモルガン セキュリティーズ エルエルシーが算出・公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場のパフォーマンスを表す

【各通貨の短期金利】

- ・円、米ドル、ユーロ、英ポンド：1ヵ月LIBOR
- ・豪ドル：豪州銀行間取引金利(BBSW)1ヵ月
- ・ブラジルレアル：30日金利スワップレート
- ・ロシアルーブル：モスクワ・プライム・オフアード・レート1ヵ月
- ・インドルピー：FBILムンバイ・インターバンク・オフアード・レート1ヵ月
- ・中国元：中国インターバンク・レポレート1ヵ月
- ・南アフリカランド：ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月
- ・メキシコペソ：TIIE(銀行間金利)28日物
- ・トルコリラ：1ヵ月TRLIBOR

上記グラフは、過去の一時点における市場データを基に算出した理論値および実勢値であり、各通貨コースが投資をする外国投資信託において行った為替取引に基づいた為替取引によるプレミアムまたはコストとは異なります。また、将来の為替取引によるプレミアムまたはコストを予想あるいは示唆するものではありません。

為替取引によるプレミアムとコスト

- 各通貨コースでは、原則として実質的に組み入れるハイブリッド証券などの発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。
- 通貨(国)により金利水準は異なるため、ハイブリッド証券などの発行通貨よりも短期金利の高い通貨のコースを選択した場合は、当該通貨とハイブリッド証券などの発行通貨の短期金利差相当分のプレミアムが期待されます。一方、当該通貨の短期金利がハイブリッド証券などの発行通貨の短期金利よりも低い場合には、通常、短期金利差相当分のコストが発生します。金利差の変動により、為替取引によるプレミアムまたはコストは変動します。
- 「為替取引によるプレミアム(またはコスト)」のグラフは、各通貨コースの為替取引によるプレミアムまたはコストについて、短期金利もしくは、為替取引から算出した想定利回りを基に計算した値を比較したものです。一部の新興国通貨(ブラジルレアル、インドルピー、中国元)では、規制や為替市場が未発達なことなどから、為替取引が機動的に行えないことがあるため、「NDF取引」を使用する場合があります。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みに際しての留意事項」をよくお読みください。



ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

このページは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが作成したデータを基に記載しております。

『グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト』9月9日現在の内容

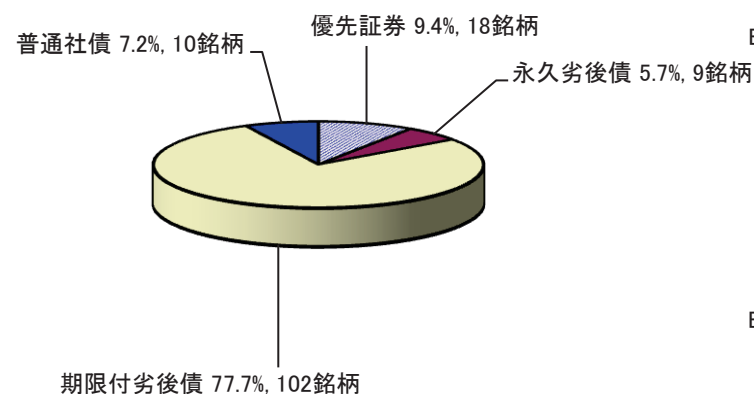
構成比率

ハイブリッド証券等	93.8%
キャッシュその他	6.2%

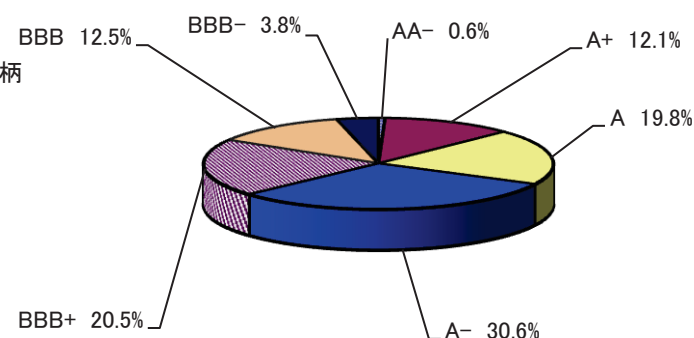
ハイブリッド証券等のポートフォリオの状況

平均クーポン(%)	5.00
最終利回り(%)	3.02
残存年数	8.45
デュレーション(年)	6.36
平均信用格付け	A-

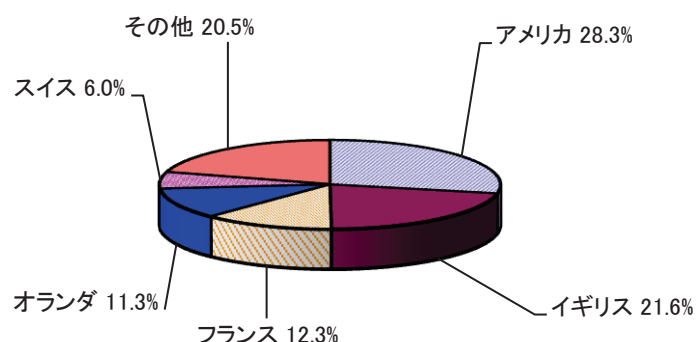
ハイブリッド証券等の種類別比率



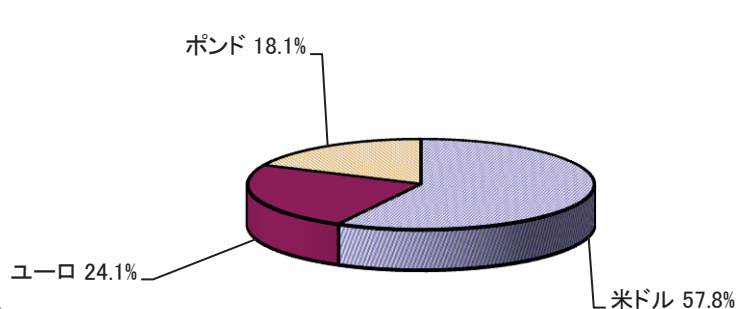
ハイブリッド証券等の信用格付け比率



ハイブリッド証券等の国別比率



ハイブリッド証券等の通貨別比率



- ・各数値は、ファンドの運用利回り等を示唆または保証するものではありません。
- ・信用格付けは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントからの情報に基づいて記載しています。同社は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、スタンダード・アンド・プアーズ、フィッチのうち最も高い信用格付けを採用し、スタンダード・アンド・プアーズの表記方法で記載しています。
- ・構成比率は、『グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト』の純資産総額に対する比率です。
- ・各グラフは、ハイブリッド証券等を100%として作成してあります。各項目ごとに四捨五入していますので合計と合わない場合があります。
- ・ポートフォリオの状況欄の「最終利回り」は、キャッシュを含めたものです。「最終利回り」は、投資対象資産の特性を理解していただくために表示しており、当ファンドへの投資で得られる「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ポートフォリオの状況欄の「最終利回り」、「残存年数」、「デュレーション」は、繰上償還(コールといいます。)条項が付与されている銘柄は直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を使用して計算しています。
- ・ポートフォリオの状況欄の「平均信用格付け」は、組み入れたハイブリッド証券等の信用格付けを加重平均したものです。『グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト』および『ハイブリッド証券ファンド』の各コースに係る信用格付けではありません。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

このページは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントが作成したデータを基に記載しております。

『グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト』9月9日現在の内容

ハイブリッド証券等の組入上位10銘柄

銘柄名	業種	通貨	国名	クーポン	償還日	信用格付け	比率
1 MORGAN STANLEY	銀行	米ドル	アメリカ	3.12500%	2026/7/27	A	2.3%
2 BPCE SA	銀行	米ドル	フランス	5.70000%	2023/10/22	A-	2.3%
3 WELLS FARGO & COMPANY	銀行	米ドル	アメリカ	4.90000%	2045/11/17	A+	2.1%
4 DIRECT LINE INSURANCE GR	保険	ポンド	イギリス	9.25000%	2022/4/27	BBB+	2.1%
5 COOPERATIEVE RABOBANK UA	銀行	ユーロ	オランダ	2.50000%	2021/5/26	A	1.9%
6 ING BANK NV	銀行	ユーロ	オランダ	3.00000%	2023/4/11	A	1.8%
7 CREDIT SUISSE	銀行	ユーロ	スイス	5.75000%	2020/9/18	BBB	1.7%
8 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	米ドル	アメリカ	4.25000%	2027/10/1	A	1.7%
9 SANTANDER UK PLC	銀行	米ドル	スペイン	5.00000%	2023/11/7	A-	1.7%
10 MIZUHO FIN GRP CAYMAN 3	銀行	米ドル	日本	4.60000%	2024/3/27	BBB+	1.7%

- ・信用格付けは、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントからの情報に基づいて記載しています。同社は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、スタンダード・アンド・プアーズ、フィッチのうち最も高い信用格付けを採用し、スタンダード・アンド・プアーズの表記方法で記載しています。
- ・業種の表記方法は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントからの情報に基づくものです。
- ・比率は、『グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト』の純資産総額に対する比率です。
- ・「償還日」は、繰上償還(コールといいます。)条項が付与されている銘柄は直近の繰上償還予定日、それ以外は償還日を表示。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



ハイブリッド証券ファンド

2016年9月12日現在

ファンドマネージャーのコメント ・あくまで作成時点での見解等を開示したもので、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。

ハイブリッド証券市場の概況

当期においては、ハイブリッド証券市場の代表的な指標であるパークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・インデックス(Lower Tier 2)の騰落率は、0.21%(米ドル/為替ヘッジベース、現地時間: (2016/8/10-2016/9/9)の下落となりました。

8月下旬にかけては、イエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長をはじめ、複数の米国金融当局者による年内利上げを支持する発言を背景に早期利上げが意識されたことなどから、米国を中心に主要国の国債利回りは上昇基調で推移しました。期末には、8月の米国雇用統計や同ISM非製造業景況指数などの経済指標が市場予想を下回ったことなどから利回りが低下する局面も見られましたが、ECB(欧州中央銀行)による量的緩和プログラムの拡大が見送られたことや、各国中央銀行が実施している緩和策の効果を疑問視する見方が広がったことなどから、主要国の国債利回りは上昇して期末を迎えました。当期においては、各国中央銀行の緩和的な金融政策などが背景となり社債に対する需要が継続したこと、社債スプレッド(国債に対する上乗せ金利)は縮小しましたが、主要国の国債利回りの上昇が重石となり、ハイブリッド証券市場は下落しました。

為替市場の概況(ロンドン時間における値動き)

【米ドル】	米ドルは円に対して上昇しました。8月中旬から下旬にかけては、7月の米国小売売上高が市場予想を下回るなど軟調な経済指標が発表されたことから米ドルは低調に推移していましたが、8月下旬にイエレンFRB議長をはじめとするFOMC(米国連邦公開市場委員会)メンバーから追加利上げを示唆する発言が相次いだことを受けて、8月末から9月にかけて米ドル高円安が進みました。その後、8月の米国雇用統計が市場予想を下回ると、米ドルは期末に向けて上昇幅を縮小しました。
【豪ドル】	豪ドルは円に対して下落しました。8月中旬から下旬にかけては、円が強含みで推移したことなどが背景となり、豪ドルは低調が続きました。8月下旬から9月上旬にかけては、円が主要通貨に対して弱含んだことや、石炭価格の上昇などから堅調な動きとなりましたが、期末にかけては、8月の米国雇用統計が市場予想を下回ったことで円高が進み、豪ドルは対円で下落しました。
【ブラジルレアル】	ブラジルレアルは円に対して下落しました。8月中旬から下旬にかけては、ブラジル中央銀行が、為替介入の規模を拡大したことなどからブラジルレアルは大きく下落しました。その後、8月末にルセフ大統領の弾劾が確定し、構造改革が促進されるなどの期待などからブラジルレアルが上昇する局面もありましたが、正式に大統領となったデメル氏に対して一部の市民からの抗議などもあり、ブラジルレアルの上昇は限定的なものとなりました。
【ロシアルーブル】	ロシアルーブルは円に対して上昇しました。8月中旬から下旬にかけては、クリミアを巡るロシアとウクライナとの間での緊張が高まり、地政学的リスクへの懸念が生じたことなどから、ロシアルーブルはもみ合いながら下落基調を辿りました。8月下旬になると、米国の利上げ観測などから円安が進み、ロシアルーブルは対円で上昇しました。さらに9月に入ると、原油価格が上昇に転じたこともあり、ロシアルーブルは上昇基調を続けました。
【インドルピー】	インドルピーは円に対して上昇しました。8月中旬には、改革を断行してきたラジャーンインド準備銀行総裁の後継にパテル副総裁の昇格が発表されましたが、実務面での懸念などもあり、インドルピーは低調が続きました。しかし、8月下旬にイエレンFRB議長や他のFOMCメンバーから追加利上げを示唆する発言が相次いだことで、9月にかけて円売りが進みインドルピーは対円で反発しました。しかし、8月の米国雇用統計が市場予想を下回ると逆に円が上昇したこともあり、インドルピーは期末にかけて対円での上昇幅を縮小しました。
【中国元】	中国元は円に対して上昇しました。8月中旬から下旬にかけては、7月の中国鉱工業生産や中国小売売上高などの経済指標が市場予想を若干下回る結果となり、中国元は対円で緩やかながら下落基調が続きました。8月下旬には、イエレンFRB議長などから追加利上げを示唆する発言を受けて米ドル高円安となり、中国元は対円で大きく上昇しましたが、9月に入ると、8月の米国雇用統計が市場予想を下回ったことで円高に転じ、中国元は上昇幅を縮小しました。
【南アフリカランド】	南アフリカランドは円に対して下落しました。8月中旬は、6月の南アフリカ小売売上高が市場予想を下回るなど、下落基調となりましたが、下旬になると、南アフリカ警察当局が、市場からの信認の厚いゴードン財務相に出頭命令を出したとの報道が材料視され下落に拍車がかかりました。9月に入り、主要な輸出商品であるプラチナ価格が上昇に転じ南アフリカランドも上昇しましたが、プラチナ価格の上昇は長続きせず、南アフリカランドは再び期末に向けて下落しました。
【メキシコペソ】	メキシコペソは円に対して下落しました。8月中旬には、6月のメキシコ鉱工業生産や製造業生産がほぼ市場予想並みとなるなか、円高基調を受けてメキシコペソは緩やかに下落しました。下旬に入ると6月のメキシコ小売売上高が市場予想を大きく上回ったことや、9月には原油価格が上昇に転じたことでメキシコペソも上昇局面が続きましたが、その後ビデガラ大蔵公債相や、同次官、国税庁長官の辞任が相次ぎ、メキシコペソは期末に向けて下落しました。
【トルコリラ】	トルコリラは円に対して上昇しました。8月中旬には、5月のトルコ失業率が市場予想に反して前月に比べて悪化したことなどもあり、下落基調が続きました。しかし、8月下旬になると、8月のトルコ消費者信頼感指数が市場予想を上回ったことや、トルコ中央銀行の金利引き下げが市場の想定通りにとどまったこともあり、トルコリラは上昇基調に転じました。しかし、9月上旬には円高が進んだことで、トルコリラは対円で下落し、上昇幅を縮小しました。

今後のハイブリッド証券市場の見通しおよびグローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラストの運用方針

ハイブリッド証券市場については、やや弱気の見方を維持しており、今後は社債スプレッドが拡大する可能性があると考えています。企業のファンダメンタルズが緩やかに悪化していること、そして英国のEU(欧州連合)離脱に起因する経済的、政治的な影響が懸念されることなどから、市場動向を注視しています。また、今後の米大統領選を取り巻く不透明感等により市場ボラティリティが上昇する可能性もあると考えています。一方、ECBやイングランド銀行による社債の買い入れは社債市場を下支えすると考えています。銀行セクターについては、規制強化に伴い資本が充実していることから、引き続き強気に見えています。なかでも、相対的にマクロ経済が堅調であることに加え、財務状況が安定している米国の銀行セクターを強気に見えています。一方、英国のEU離脱は、英国や欧州の銀行セクターに相対的に大きな影響を与えられ、引き続き動向を注視しています。

当期における銘柄選択については、バリュエーション面で割高感が生じたドイツや米国の銀行銘柄などを売却した一方、オーストラリアやスペインの銀行銘柄などを買い入れました。今後につきましては、引き続き米国、英国、フランス、オランダなどにおけるナショナル・チャンピオン(国を代表する金融機関)である上位行を中心に組み入れます。また、欧州銘柄については、ナショナル・チャンピオンの中でも、資本が充実している銀行などを中心に組み入れる方針です。

当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書(交付目論見書)ではありません。

後述の「当資料のお取り扱いに関する注意事項」、「投資信託のお申し込みの際の留意事項」をよくお読みください。



ハイブリッド証券ファンド

ハイブリッド証券ファンド円コース



投資信託部門
最優秀ファンド賞
R&I Fund Award 2015

R & I ファンド大賞 2015

投資信託／外国債券円ヘッジ部門 最優秀ファンド賞を受賞

ハイブリッド証券ファンド米ドルコース



投資信託部門
優秀ファンド賞
R&I Fund Award 2015

R & I ファンド大賞 2015

投資信託／外国債券部門 優秀ファンド賞を受賞

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「R & I ファンド大賞2015」の選考は、2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に位置しているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいています。

当資料のお取り扱いに関する注意事項

- ※当資料はファンドの運用状況に関する情報提供を目的として新光投信が作成した資料であり、投資信託説明書（交付目論見書）ではありません。
- ※当資料に掲載した図、表、数値、コメント等はすべて過去のものであり、将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。
- ※当資料は信頼できる情報に基づき作成していますが、その内容の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。
- ※投資信託は、リスクを含む商品（外貨建資産に投資する場合は為替リスクもあります。）であり、元本の保証はありません。
- ※購入のお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、詳細をよくお読みいただき、投資に関してはご自身でご判断ください。また、あらかじめ交付される契約締結前交付書面など（目論見書補完書面を含む）の内容をよくお読みください。

投資信託のお申し込みの際の留意事項

- 投資信託は、預金や保険契約ではなく、預金保険制度、保険契約者保護制度の対象ではありません。
- 投資信託は登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託は、元本の保証はありません。
- 投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 当資料は新光投信が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
信頼できると考えられるデータなどに基づき作成していますが、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。予告なく当資料の内容を変更する場合があります。



ハイブリッド証券ファンド

ハイブリッド証券ファンド各通貨コースは、外国籍の投資信託証券を通じて、主として世界の金融機関が発行するハイブリッド証券や普通社債に投資する一方で、当該資産の発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。またマネーボールファンドはわが国の短期公社債に実質的に投資します。実質的に組み入れた証券の値動きや信用状況の変化、各通貨コースの対象通貨の為替相場の変動などの影響により基準価額が変動しますので、これにより投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、各ファンドは元本が保証されているものではありません。

ファンドの特色

1. 各通貨コースは、主として世界の金融機関が発行する債券や優先証券を実質的な投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

◆各通貨コースは、ケイマン諸島籍外国投資信託「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・サブ・トラスト」(以下「サブデット・ファンド」という場合があります。運用:ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント)と国内投資信託「国内短期公社債マザーファンド」(運用:新光投信)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。

◆各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、サブデット・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。

※マネーボールファンドは、国内短期公社債マザーファンドへの投資を通じて、わが国の短期公社債に実質的に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。各通貨コースからのスイッチング以外の購入のお申し込みはできません。

各ファンドの資金動向、市況動向などによっては、また、やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

2. 投資対象とする外国投資信託における為替取引の対象通貨や決算頻度の違いにより、12の通貨コースとその他にマネーボールファンドがあります。また、各通貨コースおよびマネーボールファンド間でのスイッチングが可能です。

◆通貨コースは以下の12コースから選択できます。

各 通 貨 コ ー ス							
毎 月 決 算 型						年 2 回 決 算 型	
円 コ ー ス	米ドルコース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	円 コ ー ス (年2回決算型)		円 コ ー ス (年2回決算型)	
ロシアルーブルコース	インドルピーコース	中国元コース	南アフリカランドコース			ブラジルリアルコース (年2回決算型)	
メキシコペソコース	トルコリラコース						

マネーボールファンド

◆各通貨コースが投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。

◆円コース/円コース(年2回決算型)では、実質的に円を買い予約する為替取引により、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクを軽減する運用を行います。為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。

※スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なります。また、販売会社によっては一部のファンドのみのお取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社でご確認ください。



ハイブリッド証券ファンド

分 配 方 針

1. 円コース、米ドルコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、ロシアルーブルコース、インドルピーコース、中国元コース、南アフリカランドコース、メキシコペソコース、トルコリラコースは、原則として、毎月12日（休業日の場合は翌営業日。）の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）などの全額とします。

・円コース／米ドルコース／豪ドルコース／ブラジルリアルコース／ロシアルーブルコース／インドルピーコース／中国元コース／南アフリカランドコース

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移することなどを示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況などによっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

・メキシコペソコース／トルコリラコース

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

メキシコペソコースとトルコリラコース（2013年7月11日設定）の分配方針の記載は、2012年6月1日より実施された一般社団法人投資信託協会によるルールに則ったものであり、実質的に他の通貨コースの分配方針と異なるものではありません。

◆上記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向などを勘案して委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

2. 円コース（年2回決算型）、ブラジルリアルコース（年2回決算型）およびマネープールファンドは、原則として、年2回（毎年4月、10月の各月12日。休業日の場合は翌営業日。）の決算時に、収益の分配を行います。

◆分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）などの全額とします。

◆分配金額は、委託会社が基準価額水準や市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇運用状況により分配金額は変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。



ハイブリッド証券ファンド

各通貨コースの収益の源泉

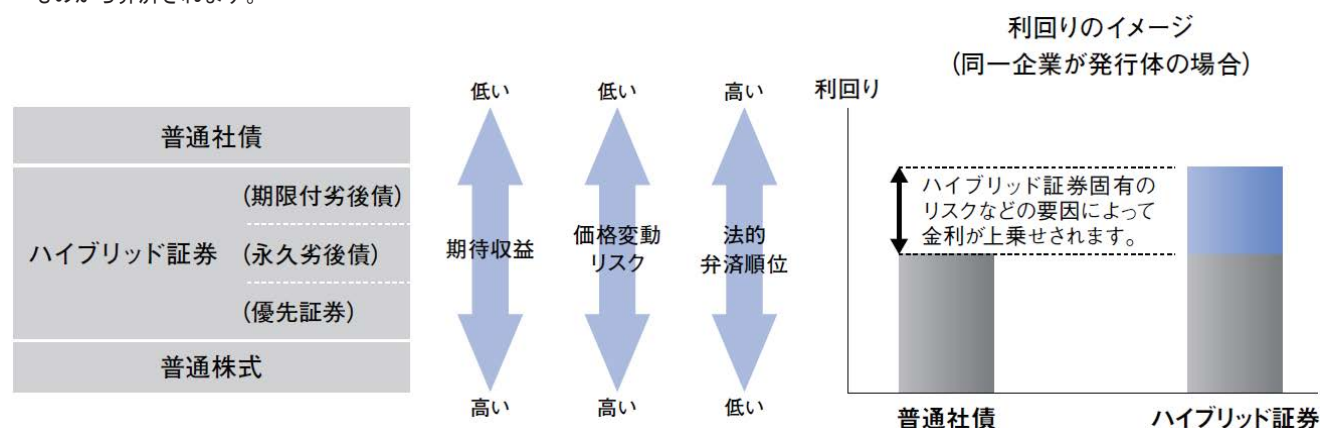
1. ハイブリッド証券への投資

◆ハイブリッド証券とは

- ・劣後債(期限付劣後債、永久劣後債)および優先証券などの総称です。
- ・利息(または配当)が定められており、満期や繰上償還時に額面で償還されるなど、債券に類似した性質を持っています。一方、市場環境などにより利息(または配当)の支払いや繰上償還が見送られることがあり、発行体にとっては資本性を有するなど、株式に類似した性質も併せ持っています。
- ・法的弁済順位からみると、債券と株式の中間に位置する証券であり、一般に、同一企業の発行するものであっても格付けが普通社債より低くなる一方で、利回りが高くなる傾向があります。
- ・ハイブリッド証券の中でも、期限付劣後債は、永久劣後債や優先証券とは異なり、一般に、普通社債と同様に利払い繰り延べがなく、相対的に流動性が高いという特徴を有しています。(発行体の債務不履行の場合は除きます。)

※ハイブリッド証券の中でも、劣後債は優先証券より法的弁済順位が高く位置づけられています。

※法的弁済順位とは、発行体が破綻などとなった場合における、債権者などに対する残余財産の弁済順位をいいます。弁済順位の高位のものから弁済されます。



※上記はハイブリッド証券の特性の一部を単純化して示したものであり、すべてのケースにあてはまるとは限りません。

※ハイブリッド証券の発行体を実質的破綻状態であると規制当局が判断した場合や特定の財務条項に抵触した場合など、元本の全額または一部削減や普通株式への転換が破綻前に執行されることもあります。したがって、状況によって普通株式より弁済順位が劣後する可能性があります。

◆劣後債および優先証券の特徴

- ・劣後債・・・①破産手続開始時の法的整理の決定がなされた場合に他の優先する債権が全額支払われない限り元金支払請求権が発生しないこと(法的弁済順位の劣後)、②償還期限が少なくとも一般的に5年以上の期限を有する(期限付劣後債)もしくは期限がない(永久劣後債)など長い償還期限で発行されていることなど、株式に類似した性質を有していることが特徴です。償還期限が長い(もしくは永久である)ことから、正式な期限の前に繰上償還(「コール」と呼ぶことがあります。)ができる条項が付与されているのが一般的です。また、発行体の財務状況などによりクーポン(利息)の支払いを繰り延べる条件が付与されている証券もあります。
- ・優先証券・・・①法的弁済順位が普通株式より優先されるものの劣後債より劣っていることから、劣後債と普通株式の中間に位置する証券です。また②償還期限の定めがないことから、劣後債よりも株式に近い性質を有しています。償還期限の定めがないことから、繰上償還(コール)条項が付与されています。クーポン(利息/配当)の支払い繰り延べについては、発行体の任意で繰り延べるのできる証券と、財務状況や収益動向によって強制的に繰り延べとなる証券があります。

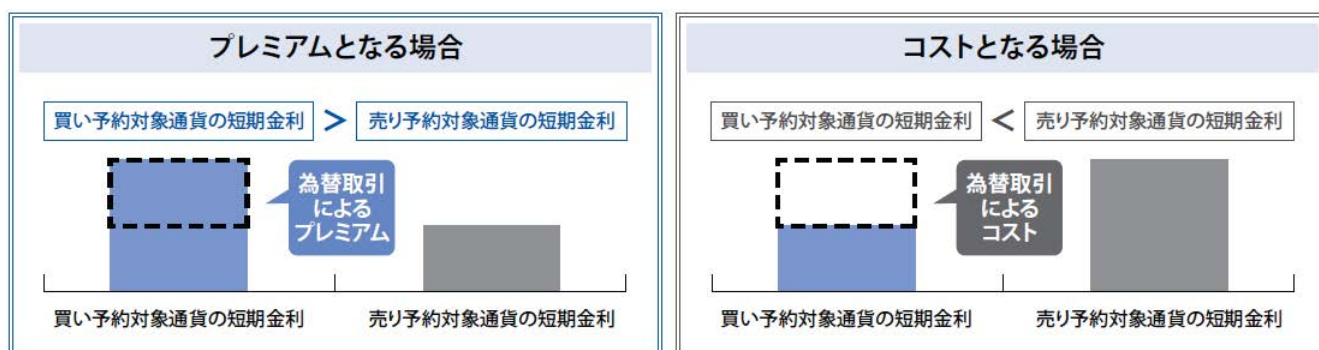
※上記はあくまでも劣後債および優先証券の一般的な特性の一部を記したものであり、すべての証券に当てはまるとは限りません。発行国の制度などにより異なる場合があります。



ハイブリッド証券ファンド

2. 為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)とコスト(金利差相当分の費用)

- ◆各通貨コースでは、原則として実質的に組み入れるハイブリッド証券などの発行通貨を売り予約し、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行います。
- ◆通貨(国)により金利水準は異なるため、ハイブリッド証券などの発行通貨よりも短期金利の高い通貨のコースを選択した場合は、当該通貨とハイブリッド証券などの発行通貨の短期金利差相当分のプレミアムが期待されます。一方、当該通貨の短期金利がハイブリッド証券などの発行通貨の短期金利よりも低い場合には、通常、短期金利差相当分のコストが発生します。金利差の変動により、プレミアムまたはコストは変動します。



※上記の図はあくまでもイメージであり、実際の為替取引によって得られるプレミアムまたはコストの大きさを保証するものではありません。

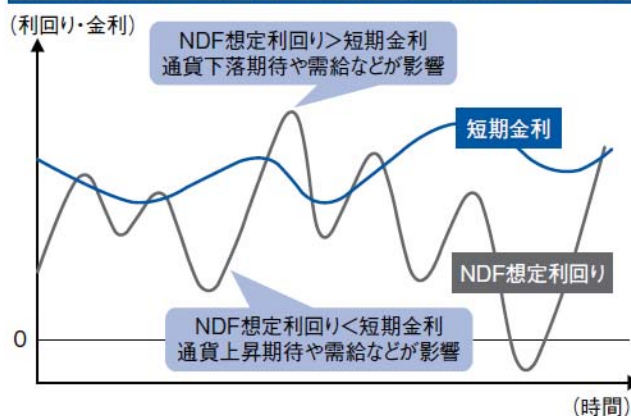
- ◆一部の新興国通貨(ブラジルレアル、インドルピー、中国元)では、規制や為替市場が未発達なことなどから、為替取引が機動的に行えないことがあるため、「NDF取引」を使用する場合があります。

NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

- ・NDF取引とは、為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対取引で行われます。また、当該通貨の受け渡しは発生せず、主に米ドルなどの主要通貨で差金決済を行います。
- ・NDF取引は、通常の買い予約・売り予約する為替取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、市場裁定が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。そのため、取引価格から推計されるNDF想定利回りが、取引時点における短期金利水準から大きくかい離することがあります。

NDF想定利回りは、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

NDF想定利回りと短期金利がかい離するイメージ図



※上記はイメージ図であり、各ファンドのパフォーマンスとは異なります。

3. 為替変動による損益(円コース/円コース(年2回決算型)を除く)

- ◆実質的に各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行うことによって、各通貨コースは対象通貨の変動の影響を受けます。各通貨コースの対象通貨に対して円安となった場合には為替差益が発生し、円高となった場合には為替差損が発生します。新興国の通貨の値動きは先進国の通貨と比べて相対的に大きくなる傾向があります。また、通貨危機や経済危機においては大きく下落する可能性もあります。



ハイブリッド証券ファンド

ファンドの主な投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、基準価額は変動します。また、各通貨コースにおいて、外貨建資産に実質的に投資した場合、為替相場の変動などの影響も受けます。

これらの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

【各通貨コースおよびマネープールファンド共通】

信用リスク	公社債などの信用力の低下や格付けの引き下げ、債務不履行が生じた場合には、当該公社債などの価格は下落します。これらの影響を受け、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
流動性リスク	有価証券などを売買する際、当該有価証券などの市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができない可能性があります。特に流動性の低い有価証券などを売却する場合にはその影響を受け、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。 各通貨コースが実質的に投資対象とするハイブリッド証券は、一般に市場における流動性が相対的に低いと見られ、市況によっては大幅な安値での売却を余儀なくされる可能性があることから、大きなリスクを伴います。
金利変動リスク	公社債の価格は、金利水準の変化にともない変動します。一般に、金利が上昇した場合には公社債の価格は下落し、各ファンドの基準価額が下落する可能性があります。

【各通貨コース】

ハイブリッド証券 (劣後債および優先 証券など)への投資 に伴う固有のリスク	ハイブリッド証券(劣後債および優先証券など)への投資には、普通社債への投資と比較して、次のような固有のリスクがあり、価格変動リスクや信用リスクは相対的に大きいものとなります。また、ハイブリッド証券に関する規制や税制などの変更があった場合、これらのリスク特性が一部変化する可能性があります。 ①劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク) 一般にハイブリッド証券の法的な弁済順位は株式に優先し、普通社債より劣後します。したがって、発行体が破綻などに陥った場合、他の優先する債権が全額支払われない限り、元利金の支払いを受けることができません(法的弁済順位の劣後)。またハイブリッド証券は一般に普通社債と比較して低い格付けが格付会社により付与されていますが、その格付けがさらに下落する場合には、ハイブリッド証券の価格が大きく下落する可能性があります。加えて、ハイブリッド証券の発行体が実質的破綻状態であると規制当局が判断した場合や特定の財務条項に抵触した場合など、元本の全額または一部削減や普通株式への転換が破綻前に執行されることもあります。したがって、状況によって普通株式より弁済順位が劣後する可能性があります。 ②繰上償還延期リスク 一般にハイブリッド証券には、繰上償還(コール)条項が付与されています。繰上償還日に償還されることを前提として取引されている証券は、市場環境などの要因によって、予定された期日に繰上償還が実施されなかった場合、あるいは繰上償還されないと思込まれる場合には、当該証券の価格が大きく下落する可能性があります。 ③利払い繰延リスク ハイブリッド証券には、利息または配当の支払繰延条項を有する証券があります。これらの証券においては、発行体の財務状況や収益動向などの要因によって、利息または配当の支払いが繰り延べまたは停止される可能性があります。
---	---

次ページに続きます。



ハイブリッド証券ファンド

ファンドの主な投資リスク

前ページからの続きです。

為替変動リスク	外貨建資産は、為替相場の変動により円換算価格が変動します。一般に、保有外貨建資産が現地通貨ベースで値上がりした場合でも、投資先の通貨に対して円高となった場合には、当該外貨建資産の円換算価格が下落し、各通貨コースの基準価額が下落する可能性があります。 ・各通貨コース（円コース／円コース（年2回決算型）を除く） 各通貨コースが主要投資対象とする外国投資信託では原則として、各通貨コースの対象通貨を買い予約する為替取引を行うため、各通貨コースの基準価額は実質的に当該対象通貨の為替変動の影響を受けます。ただし、為替取引の状況によっては外国投資信託が保有する有価証券の発行通貨の影響を受ける場合があります。対象通貨が新興国通貨の場合には、為替変動リスクが相対的に高くなる可能性があります。各通貨コースの対象通貨の金利が実質的な投資対象資産の発行通貨の金利よりも低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。 ・円コース／円コース（年2回決算型） 上記2コースが主要投資対象とする外国投資信託では原則として、円を買い予約する為替取引により、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクを軽減する運用を行いますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではなく、為替変動の影響を受ける場合があります。為替ヘッジを行うにあたり、円金利が実質的な投資対象資産の発行通貨の金利より低い場合には、その金利差相当分のコストがかかります。
カントリーリスク	投資対象国・地域の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制などの要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動する場合があります。これらの影響を受け、各通貨コースの基準価額が下落する可能性があります。
特定の業種への集中投資リスク	各通貨コースは、投資信託証券を通じて、金融機関が発行する債券や優先証券に集中的に投資するため、個別金融機関の財務内容および収益動向などに加えて、金融機関を監督する金融当局の行政方針や金融システムの状況など、金融セクター固有の要因によるリスクが伴います。したがって、幅広い業種に分散投資を行うファンドと比較して基準価額の変動が大きくなる可能性があります。金融機関の財務状況に対する懸念が高まる局面や、予想外の金融行政の変化などが起こった場合には、債券および優先証券の価格下落に伴い各通貨コースの基準価額は大きく下落する可能性があります。また、発行金融機関が経営不安、倒産、国有化などに陥った場合には、実質的に組み入れを行っている債券や優先証券の価値が大きく減少すること、もしくは無くなることもあり、各通貨コースの基準価額に大きな影響を及ぼすことがあります。
特定の投資信託証券に投資するリスク	各通貨コースが組み入れる投資信託証券における運用会社の運用の巧拙が、各通貨コースの運用成果に大きな影響を及ぼします。また、外国投資信託を通じて各国の有価証券に投資する場合、国内籍の投資信託から直接投資を行う場合に比べて、税制が相対的に不利となる可能性があります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。



ハイブリッド証券ファンド

お申込みメモ	
商品分類	◆各通貨コース:追加型投信/海外/債券 ◆マネーボールファンド:追加型投信/国内/債券
購入単位	(当初元本1口=1円) 購入単位は販売会社またはお申込コースにより異なります。お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2コースがあります。ただし、販売会社によってはどちらか一方のみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社または新光投信にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(各ファンドの基準価額は1万口当たりで表示) ※マネーボールファンドは、各通貨コースからのスイッチング以外の購入のお申し込みはできません。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	◆各通貨コース:換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額 ◆マネーボールファンド:換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までとし、当該締切時間を過ぎた場合の申込受付日は翌営業日となります。 ※申込締切時間は販売会社によって異なる場合があります。
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
スイッチング	販売会社・委託会社の休業日および購入・換金申込不可日を除き、いつでもお申し込みできます。 ・スイッチング価額:購入価額/換金価額と同じ ※スイッチングのお取り扱いの有無や対象ファンドなどは、販売会社により異なりますので、詳しくは販売会社でご確認ください。
購入・換金 申込不可日	◆各通貨コース:以下に定める日には、購入・換金・スイッチングのお申し込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行の休業日 ・ロンドンの銀行の休業日 ただし、次の5つのコースでは、以下に定める日についても、購入・換金・スイッチングのお申し込みの受付を行いません。 ・ブラジルレアルコース/ブラジルレアルコース(年2回決算型):サンパウロの銀行の休業日 ・ロシアルーブルコース:ロシアの銀行の休業日 ・インドルピーコース:インドの銀行の休業日 ・中国元コース:中国の銀行の休業日
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止(マネーボールファンドを除きます。)、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申し込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金・スイッチングのお申し込みを取り消す場合があります。
信託期間	2019年10月15日まで(2009年11月16日設定。ただし、メキシコペソコースとトルコリラコースは2013年7月11日設定。円コース(年2回決算型)とブラジルレアルコース(年2回決算型)は2015年1月14日設定。)
繰上償還	◆各通貨コース:受益権の総口数が30億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。 ◆マネーボールファンド:受益権の総口数が1億口を下回ることとなった場合などには、繰上償還することがあります。
決算日	◆毎月決算型の各通貨コース:毎月12日(休業日の場合は翌営業日) ◆円コース(年2回決算型)/ブラジルレアルコース(年2回決算型)/マネーボールファンド:毎年4月、10月の各月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	◆毎月決算型の各通貨コース:年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆円コース(年2回決算型)/ブラジルレアルコース(年2回決算型)/マネーボールファンド:年2回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。「分配金再投資コース」を選択された場合の分配金(税引後)は自動的に無手数料で全額再投資されます。
課税関係	収益分配時の普通分配金ならびに換金時・スイッチング時の値上がり益および償還時の償還差益に対して所定の税率により課税されます。各通貨コースおよびマネーボールファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」の適用対象です。 ※税法が改正された場合などには、課税上の取り扱いが変更になる場合があります。

ファンドの費用	
お客さまが直接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料 購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、 3.24%(税抜3.0%) を上限として、販売会社がそれぞれ独自に定める手数料率を乗じて得た額となります。詳しくは販売会社または新光投信にお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額 ◆各通貨コース:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対し 0.3% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。 ◆マネーボールファンド:ありません。
スイッチング時	スイッチング手数料 ◆各通貨コース:購入時手数料の上限率の範囲内で、販売会社がそれぞれ独自に定めるスイッチング手数料率をスイッチング価額に multiplying して得た額となります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 ◆マネーボールファンド:ありません。 ※スイッチングの際には、別途換金時と同様の費用、税金がかかります。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	運用管理費用(信託報酬) ◆各通貨コース:投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた実質的な信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に対して最大で 年率1.684%(税抜1.6%)程度 となります。 (上記は、サブデット・ファンドを100%組み入れた場合の信託報酬の総額を示しています。ただし、サブデット・ファンドは、余資運用の一環として主に短期債券などを投資対象とするファンドへ投資することがあり、かかる場合には当該ファンドの管理報酬など(サブデット・ファンドの純資産総額の年率0.0175%相当を上限とします。)を間接的に負担します。) ・各通貨コース:年率1.134%(税抜1.05%) ・サブデット・ファンド:年率0.55% ・国内短期公社債マザーファンド:ありません。 ◆マネーボールファンド:日々のファンドの純資産総額に対して 年率0.0648%(税抜0.06%) から 年率0.648%(税抜0.6%) の範囲内となります。
	その他の費用・手数料 監査法人に支払うファンドの監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などを、その都度(監査報酬は日々)、投資信託財産が負担します。また、サブデット・ファンドにおいても、有価証券などの売買手数料、株式登録機関兼名義書換事務代行会社の報酬、監査報酬、弁護士費用、当初設定にかかる諸費用などが掛かります。 ※「その他の費用・手数料」については、定率でないもの、定時に見直されるもの、売買条件などに応じて異なるものなどがあるため、当該費用および合計額などを表示することができません。

◎手数料などの合計額については、購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◎詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)、運用報告書などでご確認いただけます。

委託会社、その他の関係法人	
■委託会社:	新光投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第339号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ファンドの運用の指図などを行います。
■受託会社:	三井住友信託銀行株式会社 ファンドの財産の保管および管理などを行います。
■販売会社:	募集・販売の取り扱い、投資信託説明書(目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。



ハイブリッド証券ファンド

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	日本証券業協会
株式会社SBI証券 (マネーボールファンドの取り扱いはありません)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大山日ノ丸証券株式会社 (円コース(年2回決算型)、ブラジルリアルコース(年2回決算型)の取り扱いはありません)	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第5号	日本証券業協会
高木証券株式会社 (マネーボールファンドの取り扱いはありません)	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
内藤証券株式会社 (メキシコペソコース、トルコリラコース、円コース(年2回決算型)、ブラジルリアルコース(年2回決算型)、マネーボールファンドの取り扱いはありません)	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第24号	日本証券業協会
UBS証券株式会社 (円コース(年2回決算型)、ブラジルリアルコース(年2回決算型)、マネーボールファンドの取り扱いはありません)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社 (マネーボールファンドの取り扱いはありません)	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

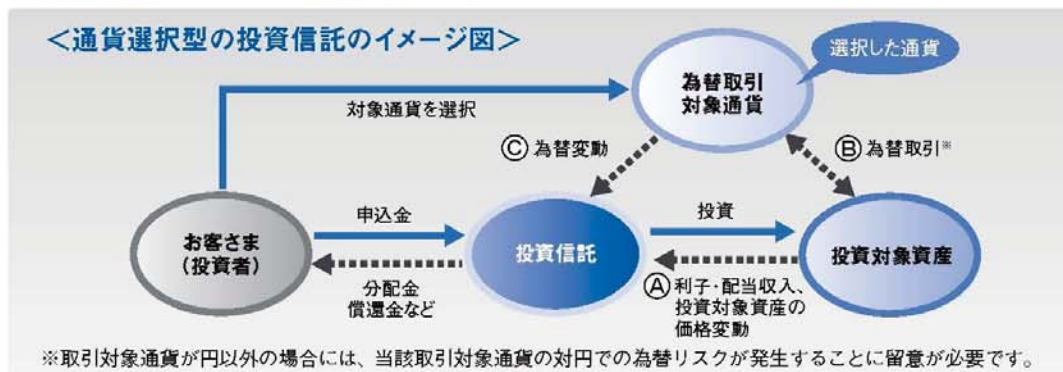
この一覧表は、各販売会社より取得した情報を基に作成しています。

(順不同)



ハイブリッド証券ファンド

通貨選択型ファンドの収益のイメージ



◆ 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

◆ 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

① 投資対象資産による収益（上図A部分）

- ・投資対象資産が値上がりした場合や利子・配当が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・逆に、投資対象資産が値下がりした場合や、基準価額の下落要因となります。

② 為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）（上図B部分）

- ・「選択した通貨」（コース）の短期金利が、投資信託の「投資対象資産の通貨」の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「プレミアム」が期待できます。
 - ・逆に、「選択した通貨」（コース）の短期金利のほうが低い場合には、「コスト」が生じます。
 - ・なお、「選択した通貨」と「投資対象資産の通貨」が同一通貨の場合、為替取引によるプレミアムやコストは発生しません。
- ※新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益（上図C部分）

- ・上図B部分とは異なり、上図C部分については為替取引を行っていないため、「選択した通貨」（円を除く。以下同じ）の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・「選択した通貨」が対円で上昇（円安）した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・逆に、「選択した通貨」が対円で下落（円高）した場合は、為替差損が発生します。

◆ これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	利子・配当収入 投資対象資産の価格変動	為替取引による プレミアム／コスト	為替差益／為替差損
収益を得られる ケース	・投資対象資産の市況の好転 (金利の低下、発行体の信用 状況の改善など)* 投資対象資産 (ハイブリッド証券など)の 価格の上昇	・選択した通貨の短期金利が 投資対象資産の通貨の短期 金利を上回る プレミアム (金利差相当分の収益) の発生	・選択した通貨が対円で上昇 (円安) 為替差益の発生
損失やコストが 発生するケース	・投資対象資産の市況の悪化 (金利の上昇、発行体の信用 状況の悪化など)* 投資対象資産 (ハイブリッド証券など)の 価格の下落	・選択した通貨の短期金利が 投資対象資産の通貨の短期 金利を下回る コスト (金利差相当分の費用) の発生	・選択した通貨が対円で下落 (円高) 為替差損の発生

*投資対象資産の価格の上昇／下落の要因は、資産の種類(株式、債券、不動産など)により異なります。



ハイブリッド証券ファンド

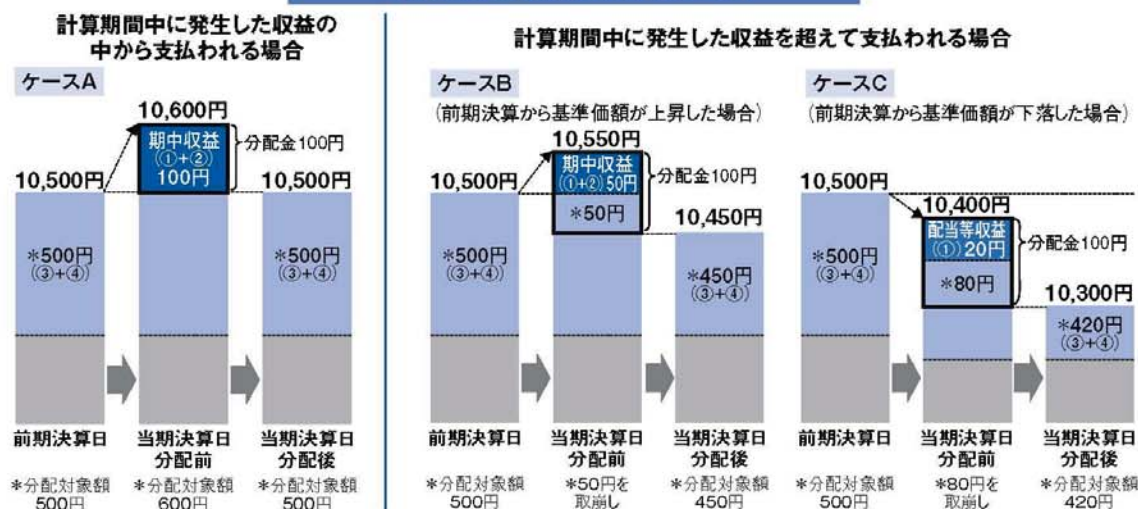
収益分配金に関する留意事項

- 投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金と基準価額の関係（イメージ）



分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次のとおりとなります。

ケースA: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差 0円 = 100円
 ケースB: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲ 50円 = 50円
 ケースC: 分配金受取額100円+当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲ 200円 = ▲100円

★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

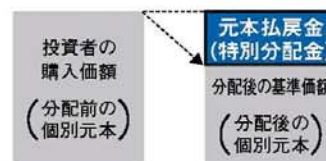
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。